# 令和3年第1回定例会(2･3月議会)の概要

中津市議会議員　大塚正俊

令和3年第1回定例市議会（2・3月議会）は、2月22日から3月23日の30日間開催されました。

令和3年度一般会計予算等の予算議案22件、条例議案22件、人事議案5件、報告4件、その他議案1件、意見書1件、決議2件の計57件が上程され、意見書1件を除く議案を原案通り可決しました。なお、継続審査となっていた請願は不採択と決しました。

# 令和３年２･３月議会一般質問の概要

**■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。**

**1. 持続可能な財政の確立に向けて**

①中津市の財政に赤信号が点滅か

②財政の健全化に向けて

**2. ごみの減量化に向けて**

①コロナ禍の今、なぜごみの有料化か

②指定ごみ袋有料化の問題点

③容器包装プラスチックの分別回収に待ったを

**3. 寒波に負けない水道事業へ**

①凍結による漏水の状況

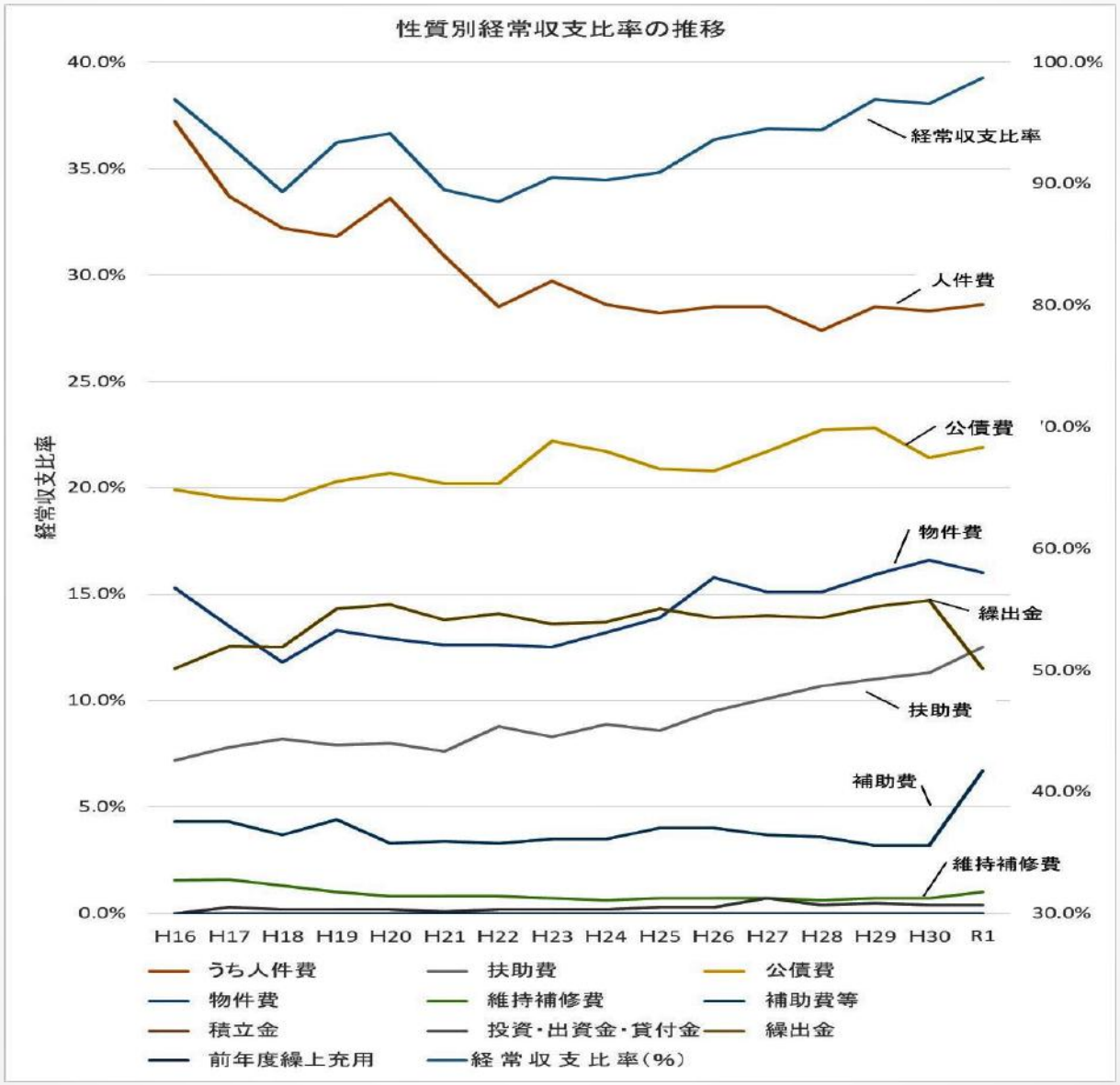
②5年前の反省は活かされたのか

③各家庭の給水装置の寒冷地対策

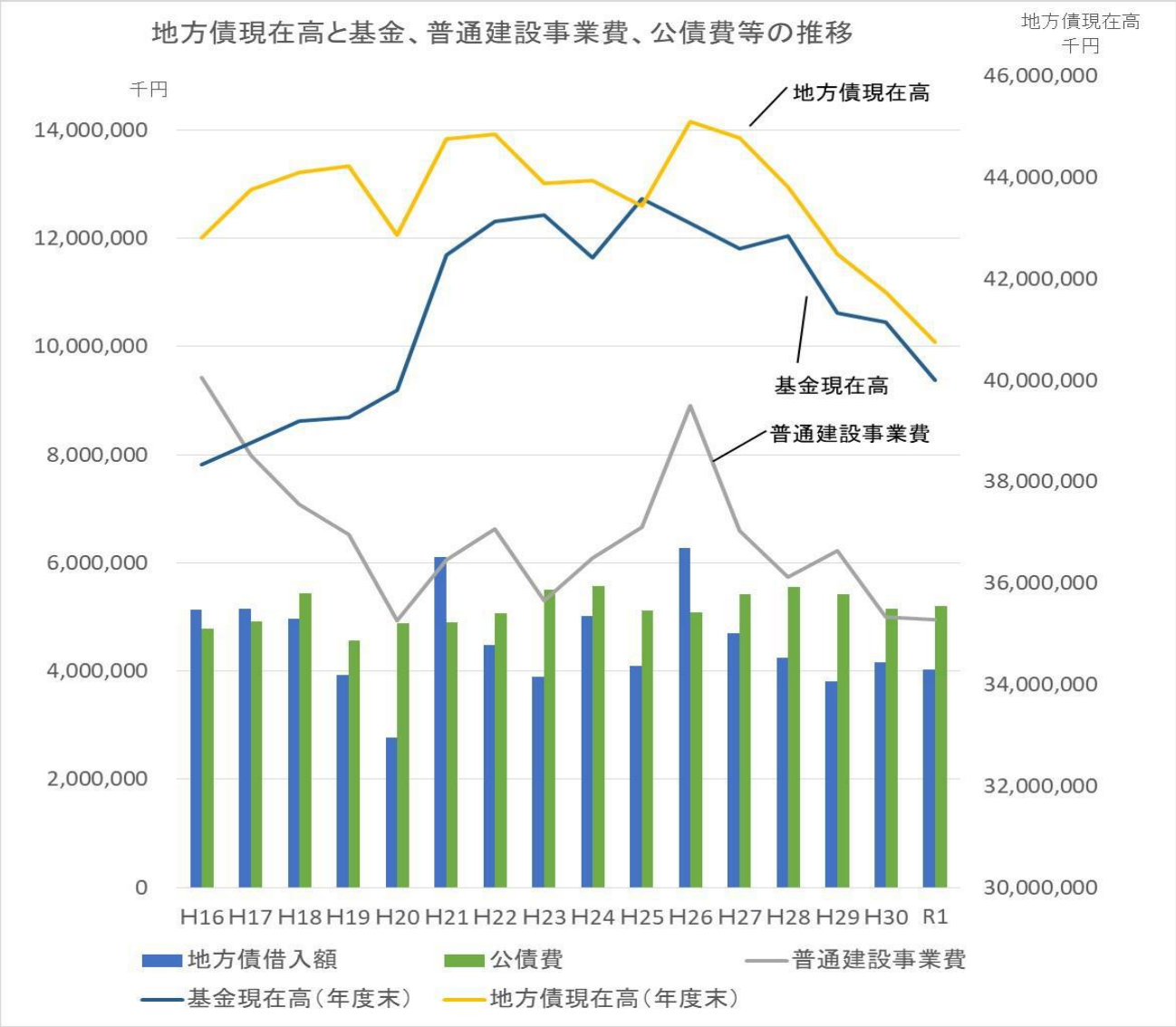
④漏水個所の早期発見に向けて

⑤災害時給水量の確保

# 一般質問における参考資料



# 一般質問における参考資料



# 令和３年２･３月定例議会で決まったこと。【抜粋】

## １．令和２年度一般会計補正予算（第7･8号）
## 補正額2億1,234万円（補正後予算額538億3,759万円 ）

□放課後児童健全育成事業（新型コロナウイルス対策関連）　；1,175万円

・新型コロナウイルス感染症対策及びICT化の推進に係る経費

・児童クラブの手指消毒用アルコール、マスク、備品等

□児童福祉運営事業（新型コロナウイルス対策関連）　；3,410万円

・新型コロナウイルス感染症対策に係る経費

・公立、私立保育施設の手指消毒用アルコール、マスク、備品等）

□ふるさとなかつ応援基金管理事業；4,880万円
（補正後金額；1億2,980万円）

・ふるさとなかつ応援寄附金の実績見込み増による補正

□高瀬住宅建替事業；1億366万円

・4棟（52戸）

・総事業費；11億2400万円、令和6年度完成予定

## □急傾斜地崩壊対策事業；1,220万円

・県が実施する道の上地区（本耶馬渓）、深耶馬地区（耶馬渓）、芝原地区（耶馬渓）、平田中村地区（耶馬渓）の負担金

急傾斜地崩壊対策事業イメージ

## □道の駅耶馬トピアパーキングエリア整備事業；2,500万円

・駐車場整備工事

耶馬トピア整備イメージ

□豊陽中学校施設大規模改造事業
；1億5,004万円

□三郷小学校校舎屋根・外壁長寿命化改良事業；3,090万円

□小学校トイレ洋式化改修事業；5,780万円
・豊田小、小楠小、上津小学校

□中学校トイレ洋式化改修事業；1億2,740万円
・中津中、今津中、三光中学校

改修イメージ（樋田小学校トイレ）

## □児童福祉施設従事者慰労金支給事業；5,170万円

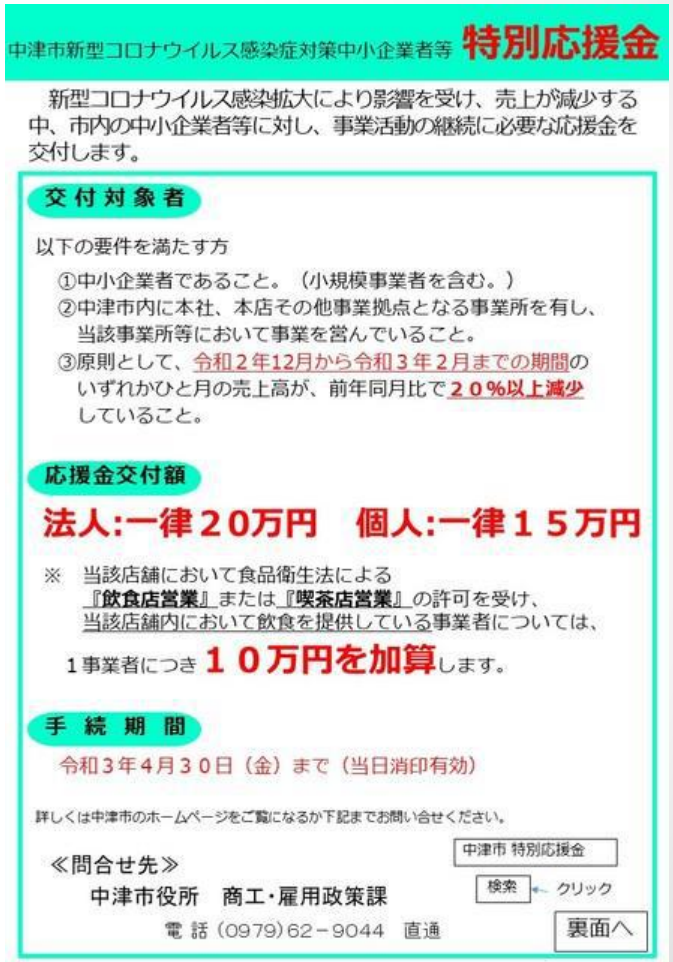
・保育施設や児童クラブ等の児童福祉施設の従事者（1,034名）に5万円/人を支給する。

## □中小企業者等特別応援金支給事業；4億6,540万円

・R2年12月からR3年2月までのいずれかひと月の売上高が前年同月比で20％以上減少している中小企業者に応援金を支給する。（約2,400件）

・法人；一律20万円、個人；15万円

※飲食・喫茶店営業には10万円を加算



中津市新型コロナウイルス感染症対策中小企業者等 **特別応援金**

新型コロナウイルス感染拡大により影響を受け、売上が減少する中、市内の中小企業者等に対し、事業活動の継続に必要な応援金を交付します。

**交付対象者**

以下の要件を満たす方

①中小企業者であること。（小規模事業者を含む。）
②中津市内に本社、本店その他事業拠点となる事業所を有し、当該事業所等において事業を営んでいること。
③原則として、令和２年12月から令和３年２月までの期間のいずれかひと月の売上高が、前年同月比で**２０％以上減少**していること。

**応援金交付額**

**法人:一律２０万円　個人:一律１５万円**

※ 当該店舗において食品衛生法による『**飲食店営業**』または『**喫茶店営業**』の許可を受け、当該店舗内において飲食を提供している事業者については、

１事業者につき **１０万円を加算**します。

**手続期間**

令和３年４月３０日（金）まで（当日消印有効）

詳しくは中津市のホームページをご覧になるか下記までお問い合せください。

≪問合せ先≫
中津市役所　商工・雇用政策課
電話（0979）62－9044　直通

中津市 特別応援金
検索 ← クリック

裏面へ

# 2. 令和2年度下水道事業会計補正予算（第1号）
# 資本的支出；補正額2億2,200万円
# （補正後予算額17億8,950万円 ）

## □角木ポンプ場建設改良事業；2億2,200万円

・雨水ポンプ場建設に伴う詳細設計及び調査費
・排水面積；179.7ha（蛎瀬、大塚、新大塚、闇無、角木エリア）
・ポンプ能力；排水量7.5㎥／秒

2018年7月豪雨の浸水状況

## ３．令和3年度一般会計予算；当初予算額416億327万円（前年度対比増額4,691万円、伸率0.1％ ）

### （１）ソフト事業の新規・拡充事業（抜粋）

□防災事業（ボランティア活動保険料）；23万円

・防災士が災害時に避難所運営等で活動する際のボランティア保険に加入。

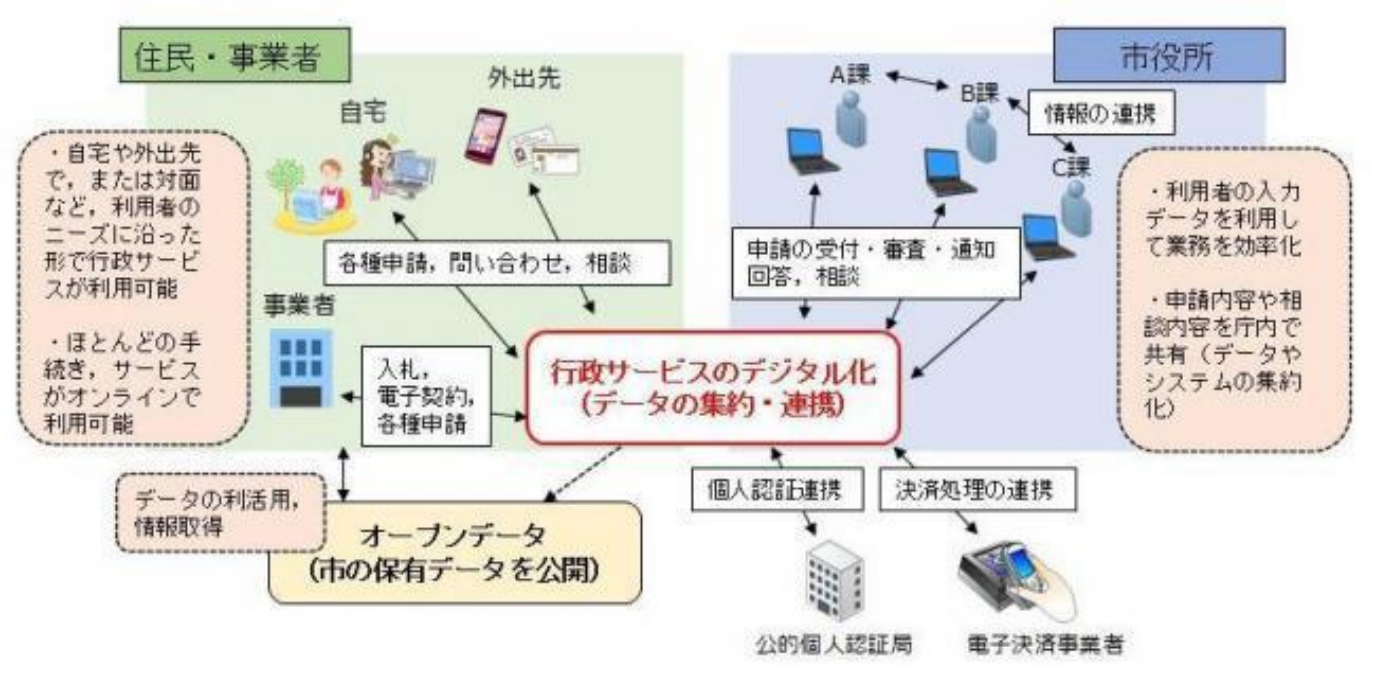
□排水ポンプ設置管理事業； 3,640万円

・仮設排水ポンプを9地区に設置（新たに北門通地区に設置）

角木・新大塚仮設排水ポンプ

## □デジタルトランスフォーメーション推進事業；2,145万円

・簡易的な申請手続き等をオンライン化するためのシステム構築、職員の部署間連携強力に向けたチャットシステム・定型業務自動化ツール（RPA）の導入等




## □立地適正化計画策定事業；3,812万円

・立地適正化計画の策定に向けた都市の現況把握やまちづくり方針、都市計画道路の見直し等の各種調査業務を委託

□公共交通調査事業；670万円

・地域公共交通網形成計画の見直しのため、計画策定のアンケート調査やニーズ分析等の実施

□結婚新生活支援事業；300万円

・結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用を支援するため、以下の3つの要件を充たす夫婦に対し、1組あたり300千円の補助を行う。

①旧下毛地域を新居とする

②夫婦とも婚姻日における年齢が39歳以下

③世帯所得が400万円未満（世帯年収約540万円未満に相当）

**結婚新生活支援事業を実施している九州の市町村**(2020年11月1日現在)

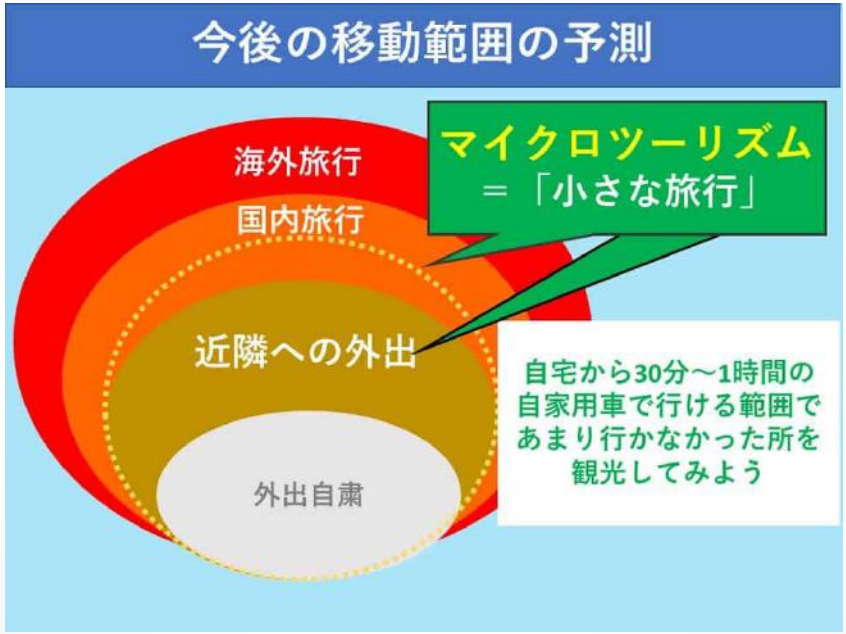
| | |
|---|---|
| 福岡県 | 豊前市、うきは市、嘉麻市、那珂川市、岡垣町、遠賀町、鞍手町、桂川町、糸田町、川崎町、大任町、吉富町 |
| 佐賀県 | 嬉野市、基山町、上峰町 |
| 長崎県 | 諫早市、松浦市、壱岐市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、川棚町、波佐見町 |
| 熊本県 | 荒尾市、玉名市、玉東町、高森町、錦町、水上村 |
| 大分県 | 日田市、宇佐市、九重町、玖珠町 |
| 宮崎県 | 国富町、綾町 |
| 鹿児島県 | 枕崎市、垂水市、薩摩川内市、いちき串木野市、志布志市、東串良町、瀬戸内町 |

## □放課後児童クラブ（総合庁舎実施分）運営事業；712万円

- 中央町の中津総合庁舎付属棟で放課後児童クラブ（なかつ中央児童クラブ）を運営
- R3年度は、待機児童が発生した校区となかつ中央児童クラブ間の移送を行う。

## □観光宣伝活動事業（マイクロツーリズム推進）；467万円

- コロナ禍における観光事業の一環としてマイクロツーリズムを推進するために、県内に向けて中津の観光をPRする広告宣伝を行う。



## □子育てほっとクーポン活用事業；2,690万円

・新生児に第1子1万円分、第2子2万円分…第N子N万円分の「おおいた子育てほっとクーポン」を配布

・R3年度よりクーポンの使用対象に「1か月健診の費用」「紙おむつ・ミルク購入費用」を追加

## □保育士就職応援金事業；150万円

・民間の新規採用保育士に対して、就職応援金（一人あたり100千円）を給付

## □保育補助者雇上強化事業；5,833万円

・保育士資格を持たない保育補助者を雇い上げる保育施設等に対し補助を行い、保育士の業務負担軽減や離職防止を図る。

## □予防事業（各種予防接種事業）；2億9,651万円

・予防接種法に基づく対象者へ、医療機関での個別接種にて定期予防接種を実施する。

※令和3年度より、任意の風しん抗体検査及び予防接種を対象に追加

## □新型コロナウイルスワクチン接種事業；2億1,714万円

・ワクチン接種体制の確保及びワクチン接種に係る経費

◇接種の優先順位は、次のように想定されています。

1. 医療従事者等
2. 高齢者（令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）
3. 基礎疾患を有する者
4. 高齢者施設等の従事者
5. 60歳から64歳の者
6. 1から5以外の者（16歳以上の方）

◇接種券（クーポン券）の発送時期について

・4月中旬以降に発送する予定です。

## □風倒木被害軽減対策事業；1,000万円

・風倒木による停電被害や道路寸断を未然に防止するため、電力会社と連携し、倒木によって被害をもたらす可能性のある立木等を事前に伐採する。

## □一般廃棄物収集運搬事業；2億8,343万円

・びん、缶の収集（月1回⇒2回）、ペットボトルの収集（下毛地区月1回⇒2回）
・容器包装プラスチック；月2回（今年7月より実施）、リサイクル処分費用2,475万円

| 旧中津地域 | 現行 | → | 令和３年度 |
|---|---|---|---|
| びん・缶 | 月１回 | | 月２回 |
| ペットボトル | 月２回 | | 月２回 |

| 旧下毛地域 | 現行 | → | 令和３年度 |
|---|---|---|---|
| びん・缶 | 月１回 | | 月２回 |
| ペットボトル | 月１回 | | 月２回 |

## □生ごみキエーロ普及促進事業；160万円

・生ごみの減量を図るため「生ごみキエーロ」の購入費を助成　（合計100基）
・販売価格；大5,000円、中4,000円、小キャスター付き4,500円

生ごみキエーロ

## □新規就農者向け所得安定対策事業；100万円

・農業経営収入保険制度の対象とならない1～2年目の認定新規就農者に対し、100万円を上限とした所得補填を行う。

## □GIGAスクールサポーター設置事業；434万円

・小中学校に1人1台のタブレット導入により、タブレットの管理やトラブル対応等の業務を行う専門知識をもったGIGAスクールサポーターを設置

## （1）普通建設事業の新規・拡充事業（抜粋）

### □移住・定住支援事業；850万円

・旧下毛地域の空き家改修・建替えやUターンによる実家の改修に補助金を支給する。（補助率50%、上限50万円）
・R3年度より旧下毛地域内の新築住宅建設補助を追加

### □ごみ処理施設整備事業 9億4,933万円

・焼却施設及びリサイクル施設設備改修工事

## □ため池整備事業（是則：新池）；650万円

## □企業誘致事業；4,081万円

・大新田北工業団地（4工区）に接する市道726号線の拡幅工事

（別紙）

大新田北企業用地整備計画（全体）

## □猿飛千壺峡整備事業；3,001万円

・遊歩道改修工事

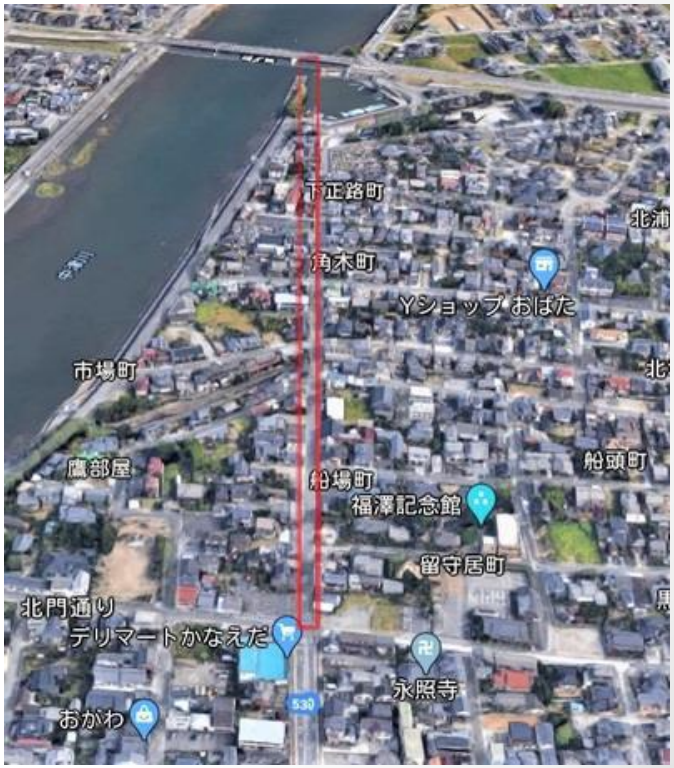
## □競秀峰遊歩道整備事業；300万円

・遊歩道、階段整備工事

## □宮永角木線街路事業；8,660万円

・道路改築工事、用地取得、家屋補償等

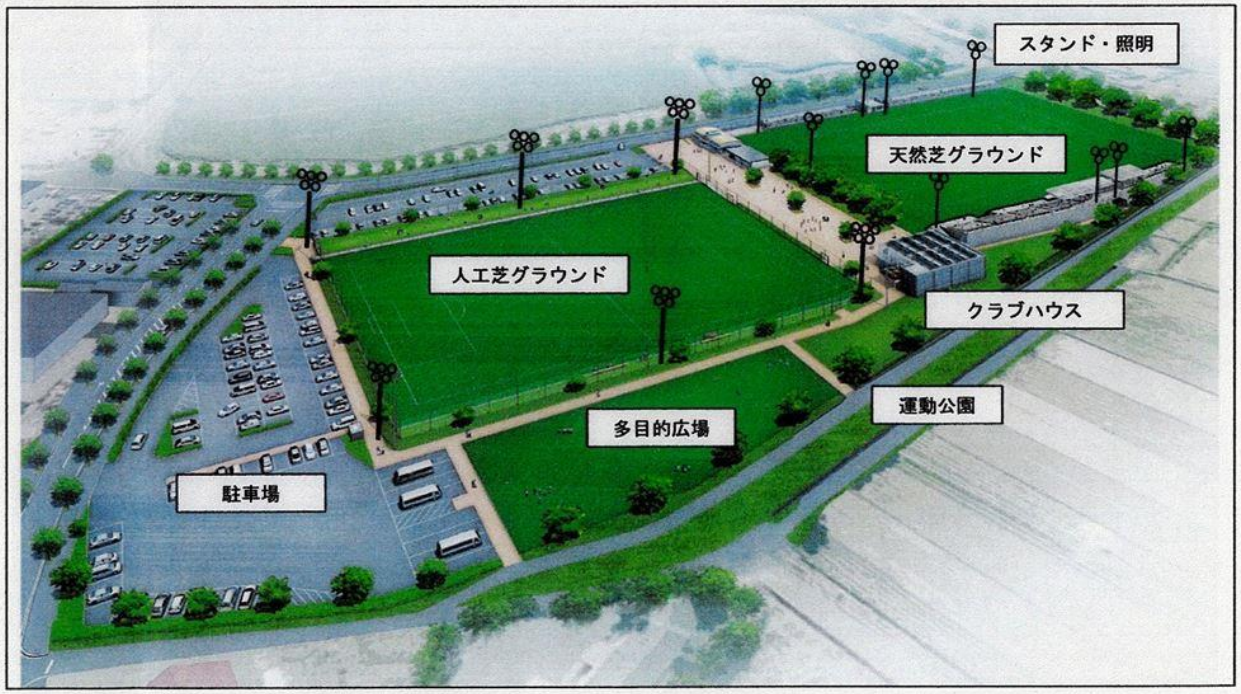
・工事完成予定；R8年度末



## □永添運動公園整備事業；5,140万円

・園地整備、防護柵整備、舗装工事、休憩施設整備

・令和3年度完成予定




【基本設計時のイメージパース】

## □常備消防施設整備事業；3,981万円

・高規格救急車1台更新

## □非常備消防施設整備事業；5,761万円

・消防団詰所造成工事（三保）、耐震性貯水槽新設工事（耶馬渓・福土）、消防団ポンプ車車両更新（大幡、植野）

## □耶馬渓公民館整備事業；1,896万円

・造成測量設計委託、実施設計委託

・総事業費；約3億円、R4年度解体・造成工事、R5・6年度建築・外構工事、R6年度完成予定

複合施設となる耶馬渓公民館

## □小学校整備事業；3,006万円

- 鶴居小駐車場整備工事（550㎡）
- 如水小駐車場用地取得・整備工事（1,017㎡）

## □緑ヶ丘中学校校舎増築事業；2,120万円

- 外構工事、植栽撤去移設工事

## □文化会館・リルドリーム整備事業；5,280万円

・文化会館音響設備更新工事、リルドリーム音響設備更新工事

リルドリームの外観、内観（島田）

## □耶馬溪体育施設整備事業；4,072万円

・アクアパーク東屋新築工事、遊歩道整備工事

・B&G海洋センタープール屋根張替、照明LED化、更衣室リニューアル、トイレバリアフリー化

# ４．令和3年度下水道事業会計予算（資本的支出）
# 25億9,674万円

## □角木雨水ポンプ場整備事業；1億9,500万円

・ポンプ場の整備に係る用地境界測量等の委託、用地等の補償
・総事業費33億円、R7年度完成予定

米山雨水ポンプ場

# ５．令和3年度水道事業会計予算（資本的支出）；31億8,100万円

## □三口配水池増築事業；13億4,770万円

・配水池容量を増強するため低区配水池（6,900）㎥の増設、高区配水池（700㎥）の建て替え

・総事業費16億7,541万円、R4年度完成予定

既存の三口浄水場配水池

## □三口浄水場浄水施設増強事業 3億500万円

・水道管の破損や寒波による漏水への対応を強化するため、可搬式ろ過装置（1,000㎥/日・台）を3台購入

可搬式ろ過装置

# ６. 条例の制定、一部改正

## □中津市廃棄物の処理及び再利用に関する条例等の一部改正

・ごみ減量・資源化を目的に家庭ごみのうち「燃やすごみ」、「燃えないごみ」を指定された有料ごみ袋で排出してもらうもの

・実施時期；規則で定める日（社会経済情勢などを十分に考慮した上で決定）

＜燃やすごみ＞40㍑袋40円、30㍑袋30円、20㍑袋20円、10㍑袋10円

＜燃えないごみ＞40㍑袋40円、20㍑袋20円、10㍑袋10円

・クリープラザの持ち込み手数料の引き上げ

＜家庭系ごみ＞10ｋｇ以下；無料⇒66円、20ｋｇ；66円⇒132円・・・・

＜事業系ごみ＞10ｋｇ以下；110円⇒150円、20ｋｇ；220円⇒300円・・

議会として、コロナ禍の今、事業所の廃業や倒産、飲食業をはじめとした店舗の売上げの激減、企業の業績悪化による解雇や雇い止めが相次ぎ、パート収入も急減している状況の中で、家庭系ごみの有料化や事業系ごみの持ち込み手数料の引き上げの実施時期は慎重に判断すべきと判断し、次の付帯決議を採択しました。

## ◆中津市廃棄物の処理及び再利用に関する条例等の一部改正に対する附帯決議（抜粋）

１．本条例の指定ごみ袋有料化等の導入時期については、コロナ感染症の状況や社会経済情勢の回復の見通しが立った段階で、市民や事業者、各種団体、議会等の意見を踏まえ施行期日を決定すること。

２．長引くコロナ禍にあって市民の暮らしは、非常に厳しい状態にあります。ごみ袋の有料化制度導入、及びごみ等の中津市クリーンプラザ（ごみ処理施設）の搬入料金の改定など、ごみの減量・資源化の施策の推進にあたっては、経済的負担を考慮すべき世帯や、コロナ禍による影響の著しい飲食業はじめ、中小企業・小規模事業者、福祉・医療関係

機関等、また、適正なごみ出しができないことが危惧される高齢者や障がい者等を考慮し、臨時的に指定ごみ袋の無償配付や持ち込みごみの減免等の支援を検討するなど経済的、物理的負担軽減措置と対策を講じ、制度の柔軟な運用を図ること。

３．市民、事業者に対し、事前の十分な周知・啓発期間を設け説明を行い、市民・事業者・行政が共に理解しあい、協力してごみの減量・資源化できる体制を構築すること。

## □中津市介護保険条例の一部改正

- 第8期海保保険事業計画に基づく、令和3年度から5年度までの介護保険料の見直し等を行う。
- 介護保険積立基金（2億円）を取り崩し、保険料の引上げ額を抑制

| 保険料段階区分 | 改正後 | 改正前 |
|---|---|---|
| 第1段階 | 36,600円/年額 | 34,200円/年額 |
| 第2段階 | 46,116円 | 43,092円 |
| 第3段階 | 54,900円 | 51,300円 |
| 第4段階 | 60,756円 | 56,772円 |
| 第5段階 | 73,200円 | 68,400円 |
| 第6段階 | 91,500円 | 85,500円 |
| 第7号段階 | 95,160円 | 88,920円 |
| 第8号段階 | 109,800円 | 102,600円 |
| 第9号段階 | 124,440円 | 116,280円 |
| 第10段階 | 131,760円 | 123,120円 |

← 基準額

# 7. 人事

□副市長の任命　前田 良猛　（満63歳）
　・経歴 ；市民病院総務課長、総務部長等
　・再任

□監査委員の同意　恒賀 愼太郎　議員（満66歳、大貞在住）

□議　長　　中西　伸之（満62歳、耶馬渓町福土在住）

□副議長　　木ノ下 素信（満58歳、植野在住）

# ８. 意見書（私たちの会派で提出）

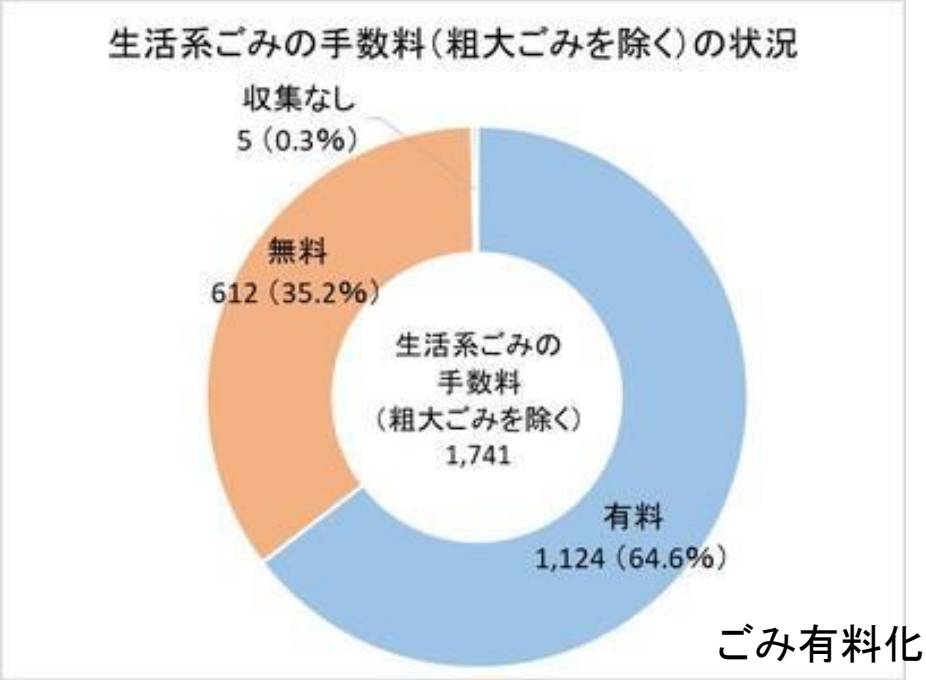
## □日本政府に核兵器禁止条約の参加、調印、批准を求める意見書　【不採択】

　条約発効により今ようやく「核なき世界」への扉が開かれようとしている。しかし、残念なことに５００超える地方議会が核兵器禁止条約への参加を求める意見書を採択しているにもかかわらず、現在までのところ、日本政府はこの条約には批准しないと公言している。

　そこで、政府は、核のない平和な世界を築くため、核兵器禁止条約に参加、調印、批准することを求める。

# 9. 請願

・家庭ゴミ無料収集の継続を求める請願書【否決】



（ごみ袋イメージ）

ごみ有料化自治体は、全国の64.6%

※私は、コロナ禍で市民や事業者に負担を強いる有料化は、コロナ禍の今、実施すべきではないとの判断から賛成しました。

# 10. 決議

□新型コロナ緊急事態宣言地域内とその周辺自治体との地域経済支援の格差を是正し、地域事情に応じた支援が行われることを強く求める緊急決議　　【採択】

１．緊急事態宣言地域内と地域外では、経済的支援の格差が大きい。緊急事態宣言内と同様に経済的影響を受けている緊急事態宣言地域周辺に対する影響も十分に考慮し、充実した支援策を展開できるよう、国、県、市が連携した取り組みを強化すること。

２．国においては、都道府県や市町村の地域の実態（地域経済や感染状況）に沿った、地域や業種ごとにきめ細かく、思い切った経済的支援が展開できるよう制度を確立し、財政的支援の拡充を行うこと。

３．国、県、市は、風評被害の著しい飲食店、商店街、中小企業・小規模事業者等が希望を持ち、雇用を守り、事業を継続できる施策を実施すること。

４．国、県、市は情報の共有化を図り、誰もが支援制度を活用できるよう、申請手続きの簡素化や申請手続きの支援など、より効率的かつ確実に支援が受けられる体制を整備すること。

※決議は、国、大分県へ提出しました。

# 8. 自由討議

## （1）ファイト！コロナ禍でも未来に希望の持てるまちづくりを（補足説明者：林 秀明 議員）

①あなたが新しい生活様式の中で気づいた明るい話題
②あなたがこれから取り組んでみたいこと
③みんなで広げるシトラスリボンの取り組みを始めませんか

私は、コロナ禍で実践している農耕接触を紹介し、家庭菜園での野菜づくりによる自給自足運動の推進を提案しました。また、ウオーキング人口が増えてきている中、自分の実践活動を紹介し、「ごみ拾いながらウォーキング」を提案しました。

## （２）ＬＧＢＴなどの性的マイノリティ（少数者）の尊厳を保障するために（補足説明者：吉村 尚久 議員）

①ＬＧＢＴなど性的マイノリティや性的マイノリティの課題をどう受けとめているか。

・もし、あなたが家族や知人からカミングアウトされたらどう対応するか
・性的マイノリティの人たちはどんなことで困っていると思うか
・性的マイノリティに対する差別や偏見はなぜ起こるのか

②性的マイノリティの課題に対して、行政・学校・企業などはどんな支援や配慮ができるか

・公共のトイレや学校のトイレ、制服や体操服、パートナーシップ制度など

私は、自分の経験談を含めて、以下の考え方を発言をしました。

私達の世代では、子どもが生まれて、オチンチンがついていたら一生男の子として育てられ、小学校入学時には、黒のランドセル、中学校に入学したら学生服、男子のトイレ、更衣室、就職したらスーツを着るのが当たり前。

私自身、体は男で、心が女性だったら、生きにくい世の中だったろうなぁと思います。

性同一性障害の概念のなかった時代には、これが当たり前だったけど、現在ではかなり理解が進んでいると感じています。

子どもや大人達がしっかり自分らしさを表現しながら、学校生活、家庭生活、社会生活を送っていけるようにサポートすることが重要だと思います。

私自信、性的マイノリティを受け入れる心の準備はできているつもりですが、自分の子どもや孫が同性と結婚するとなった時は、冷静な判断ができる自信がないのが正直なところです。

# 最後までお読みいただき、ありがとうございました。

## ““東日本大震災から10年
## ～「あの日」に学び「あした」を守る～””

死者1万5,000人以上、行方不明者2,000人以上という甚大な被害をもたらした東日本大震災から10年が経過しました。
また、30年以内に70%以上の確率で発生すると想定されている南海トラフ地震では、これらの大震災を上回る被害が想定されています。
災害大国と言われている日本で暮らす以上、常に災害への対策を念頭に置いておく必要があります。
「あの日」に学び「あした」を守るために、東日本大震災の教訓を踏まえた防災・減災対策の推進に向けて、取り組んで参ります。

震災直後の気仙沼市の様子

編集後記（ひとりごと）　コロナ禍は、対面を避けがちで「繋がり」が希薄になります。避ける毎日は、からだも心も窮屈です。休日には農耕接触で汗をかき、自然を観て、聴いて、匂って、味わって、触れてストレスを発散しています。（まさとし）